

令和3年度

島根大学大学院人間社会科学研究科

大学院特別履修プログラム
受講生募集要項

島根大学

大学院人間社会科学研究科

(修士課程)

1. プログラムの趣旨・目的

少子高齢化、人口減少、地域コミュニティの存続の危機など、現代社会において解決していくべき課題が多いなか、地域産業や地域社会で活躍する社会人にとって、人間と社会のしくみについて理解を深めることが、以前にも増して重要となってきています。

このため本研究科は、社会人を対象として、専門的な人文・社会系の学問に触れ、理解を深めることができる、参加しやすい学び直しプログラムを開設しました。

本プログラムは、経費負担の少ない短期のノンディグリーコース（学位取得を目的としないコース）です。社会人キャリアステップアップの基礎として、また将来の専門的な学修への入り口としてご活用ください。

2. プログラムの概要

本プログラムは、社会人が受講者の興味を専門的に学ぶための入口として、社会創成専攻のコース専門科目の一部を履修し、単位を修得することを可能とするものです。各科目は「人間と社会をとらえる」と「共生社会をひらく」という2つのテーマに分かれており、本研究科の理念に立脚しつつ学びを深められます。それぞれのテーマに属する科目のなかから2科目4単位以上を修得することにより、受講完了証書が交付されます。

なお、将来的に大学院人間社会科学研究科に入学する場合、本プログラムにより6単位以上を修得し、研究科の入試において優秀な成績を修め、指導教員が認めた者は、短期履修制度（通常2年の修士課程を、1年で修了することを可能とする制度）の対象となります。また、本プログラムにおいて修得した単位は、大学院修了のための単位として認定することが可能です。

本プログラムで学修できる学問分野は、次のとおりです。（履修可能な科目は「3. 履修資格」を見て下さい）

「人間と社会をとらえる」

日本語学、日本文学（国文学）、中国語学、中国文学、イギリス文学、アメリカ文学、英語学、アメリカ文化、フランス文化、ドイツ文化、哲学、芸術学、文化交流論、社会学、地理学、文化人類学、考古学、日本史、東洋史、西洋史、アーカイブズ学、社会福祉学、心理学、健康科学、精神保健学

「共生社会をひらく」

法学、地域経済

受講科目の選定にあたっては、応募に際して提出された志願書およびインタビュー（メールもしくは面接による）をもとに、履修生の要望にマッチした指導教員を島根大学大学院人間社会科学研究科の教員から選任し、履修生の希望を考慮しながら科目の選定を指導します（希望する指

導教員がいる場合にはその旨を志願書にお書きください。受講可能な曜日・時間帯が限られている方については、インタビューの中で受講可能な科目について相談を行います。また、指導教員からは、専門分野の研究について助言を受けることができます。

なお、本プログラムは本学の科目等履修生制度を利用して実施します。

3. 履修資格

次のすべての資格を満たす人。

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 本研究科の理念に立脚しつつ学びを深める意欲を持つこと。
- (3) 社会人経験をもつ 23 歳以上の者（社会人経験には家事従事者を含む）。

ただし、希望する教育内容によっては、指導体制の関係から受け入れられない場合があります。また(1)については、その他本学大学院において当該授業科目を履修する学力があると認められた者の履修を認める場合があります。その場合資格審査が必要ですので、あらかじめ下の問い合わせ先に確認して下さい。

問い合わせ先：島根大学人間社会科学研究科担当（学生センター）

Tel (0852) 32-6121, (0852) 32-6333

Fax (0852) 32-6059

4. 履修の内容

次表の授業科目から、2科目以上を選択し履修します。

「人間と社会をとらえる」

分野	科目
日本語学	日本語学特殊講義 I A
	日本語学特殊講義 I B
	日本語学特殊講義 II A
	日本語学特殊講義 II B
	日本語学特別演習 I A
	日本語学特別演習 I B
	日本語学特別演習 II A
	日本語学特別演習 II B
日本文学（国文学）	日本文学特殊講義 I A
	日本文学特殊講義 I B
	日本文学特殊講義 II A
	日本文学特殊講義 II B
	日本文学特殊講義 III A

	日本文学特殊講義 III B
	日本文学特別演習 I A
	日本文学特別演習 I B
	日本文学特別演習 II A
	日本文学特別演習 II B
	日本文学特別演習 III A
	日本文学特別演習 III B
中国語学	中国語学特別演習 A
	中国語学特別演習 B
中国文学	中国文学特殊講義 I A
	中国文学特殊講義 I B
	中国文学特殊講義 II A
	中国文学特殊講義 II B
	中国文学特別演習 A

	中国文学特別演習 B
イギリス文学	イギリス文学特殊講義 A
	イギリス文学特殊講義 B
	イギリス文学特別演習 A
	イギリス文学特別演習 B
アメリカ文学	アメリカ文学特殊講義 A
	アメリカ文学特殊講義 B
	アメリカ文学特別演習 A
	アメリカ文学特別演習 B
英語学	英語学特殊講義 I A
	英語学特殊講義 I B
	英語学特殊講義 II A
	英語学特殊講義 II B
	英語学特別演習 A
	英語学特別演習 B
アメリカ文化	アメリカ文化特殊講義 A
	アメリカ文化特殊講義 B
	アメリカ文化特別演習 A
	アメリカ文化特別演習 B
フランス文化	フランス文化特殊講義 A
	フランス文化特殊講義 B
	フランス文化特別演習 A
	フランス文化特別演習 B
ドイツ文化	ドイツ文化特殊講義 A
	ドイツ文化特殊講義 B
	ドイツ文化特別演習 A
	ドイツ文化特別演習 B
哲学	哲学特殊講義 I A
	哲学特殊講義 I B
	哲学特殊講義 II A
	哲学特殊講義 II B
	哲学特別演習 I A
	哲学特別演習 I B
	哲学特別演習 II A
哲学特別演習 II B	
芸術学	芸術学特殊講義 I A
	芸術学特殊講義 I B

	芸術学特殊講義 II A
	芸術学特殊講義 II B
	芸術学特別演習 I A
	芸術学特別演習 I B
	芸術学特別演習 II A
	芸術学特別演習 II B
文化交流論	文化交流論特殊講義 I A
	文化交流論特殊講義 I B
	文化交流論特殊講義 II A
	文化交流論特殊講義 II B
	文化交流論特別演習 I A
	文化交流論特別演習 I B
社会学	社会学特殊講義 A
	社会学特殊講義 B
	社会学特別演習 I A
	社会学特別演習 I B
	社会学特別演習 II A
	社会学特別演習 II B
	社会学特別演習 III A
	社会学特別演習 III B
地理学	地理学特殊講義 I
	地理学特殊講義 II A
	地理学特殊講義 II B
	地理学特別演習 A
	地理学特別演習 B
	地理情報システム特別実習
文化人類学	文化人類学特殊講義 I A
	文化人類学特殊講義 I B
	文化人類学特別演習 A
	文化人類学特別演習 B
考古学	考古学特殊講義 I
	考古学特殊講義 II
	考古学特殊講義 III
	考古学特別実習

	考古学特別演習Ⅰ
	考古学特別演習Ⅱ
	考古学特別演習Ⅲ
日本史	日本史学特殊講義Ⅰ-1
	日本史学特殊講義Ⅰ-2
	日本史学特殊講義Ⅱ-1
	日本史学特殊講義Ⅱ-2
	日本史学特殊講義Ⅲ-1
	日本史学特殊講義Ⅲ-2
	日本史学特別演習ⅠA-1
	日本史学特別演習ⅠA-2
	日本史学特別演習ⅠB-1
	日本史学特別演習ⅠB-2
	日本史学特別演習ⅡA-1
	日本史学特別演習ⅡA-2
	日本史学特別演習ⅡB-1
	日本史学特別演習ⅡB-2
	日本史学特別演習ⅢA-1
	日本史学特別演習ⅢA-2
日本史学特別演習ⅢB-1	
日本史学特別演習ⅢB-2	
東洋史	東洋史学特殊講義Ⅰ-1
	東洋史学特殊講義Ⅰ-2
	東洋史学特殊講義Ⅱ-1
	東洋史学特殊講義Ⅱ-2
	東洋史学特別演習ⅠA-1
	東洋史学特別演習ⅠA-2
	東洋史学特別演習ⅠB-1
	東洋史学特別演習ⅠB-2
	東洋史学特別演習ⅡA-1
	東洋史学特別演習ⅡA-2
西洋史	西洋史学特殊講義Ⅰ-1
	西洋史学特殊講義Ⅰ-2
	西洋史学特別演習ⅠA-1
	西洋史学特別演習ⅠA-2
	西洋史学特別演習ⅠB-1
	西洋史学特別演習ⅠB-2

	西洋史学特別演習ⅡA-1
	西洋史学特別演習ⅡA-2
アーカイブズ学	記録史料学特殊講義Ⅰ
	記録史料学特殊講義Ⅱ
	アーカイブズ管理論特殊講義Ⅰ
	アーカイブズ管理論特殊講義Ⅱ
	アーカイブズ学理論特殊講義Ⅰ
	アーカイブズ学理論特殊講義Ⅱ
	アーカイブズ学特殊講義
	アーカイブズ学特別演習A
	アーカイブズ学特別演習B
	資料保存論
社会福祉学	社会福祉学特殊講義Ⅰ
	社会福祉学特殊講義Ⅱ
	社会福祉学特殊講義Ⅲ
	社会福祉学特殊講義Ⅳ
	社会福祉学特殊講義Ⅴ
	社会福祉学特殊講義Ⅵ
	社会福祉学特別演習ⅠA
	社会福祉学特別演習ⅠB
	社会福祉学特別演習ⅡA
	社会福祉学特別演習ⅡB
	社会福祉学特別演習ⅢA
	社会福祉学特別演習ⅢB
	社会福祉学特別演習ⅣA
	社会福祉学特別演習ⅣB
社会福祉学特別演習ⅤA	
社会福祉学特別演習ⅤB	
社会福祉学特別演習ⅥA	
社会福祉学特別演習ⅥB	
心理学	心理学特論Ⅰ

	心理学特論 II
	心理学特別演習 I A
	心理学特別演習 I B
	心理学特別演習 II A
	心理学特別演習 II B
健康科学	健康科学特論 I
	健康科学特論 II
	食品機能・加工学特論
	健康科学特別演習 I A

	健康科学特別演習 I B
	健康科学特別演習 II A
	健康科学特別演習 II B
精神保健学	健康科学特論 II
	精神保健学特別演習 I A
	精神保健学特別演習 I B
	精神保健学特別演習 II A
	精神保健学特別演習 II B

「共生社会をひらく」

分野	科目
法学	憲法特殊講義 I A
	憲法特殊講義 I B
	憲法特殊講義 II A
	憲法特殊講義 II B
	行政法特殊講義 I A
	行政法特殊講義 I B
	行政法特殊講義 II A
	行政法特殊講義 II B
	民事法特殊講義 I A
	民事法特殊講義 I B
	民事法特殊講義 II A
	民事法特殊講義 II B
	政治学特殊講義 I A
	政治学特殊講義 I B
	政治学特殊講義 II A
	政治学特殊講義 II B
	行政学特殊講義 I A
	行政学特殊講義 I B
	行政学特殊講義 II A
	行政学特殊講義 II B
	社会法特殊講義 I A
	社会法特殊講義 I B
	社会法特殊講義 II A
	社会法特殊講義 II B

	企業法特殊講義 I A
	企業法特殊講義 I B
	企業法特殊講義 II A
	企業法特殊講義 II B
	刑事法特殊講義 I A
	刑事法特殊講義 I B
	刑事法特殊講義 II A
	刑事法特殊講義 II B
	刑事訴訟法特殊講義 I A
	刑事訴訟法特殊講義 I B
	刑事訴訟法特殊講義 II A
	刑事訴訟法特殊講義 II B
	税財政法特殊講義 I A
	税財政法特殊講義 I B
	税財政法特殊講義 II A
	税財政法特殊講義 II B
	国際租税法特殊講義 A
	国際租税法特殊講義 B
	情報法制論
地域経済	地域経済演習
	地域政策基礎論
	経済理論特殊講義 I
	国際経済特殊講義 I
	財政学特殊講義 I
	経済政策特殊講義 I

	地域経済特殊講義 I
	情報経済特殊講義 I
	福祉経済特殊講義 I
	経済理論特殊講義 II
	国際経済特殊講義 II
	情報経済特殊講義 II
	経済理論特別演習

	経済政策特別演習
	財政学特別演習
	国際経済特別演習
	情報経済特別演習
	地域経済特別演習
	福祉経済特別演習

5. 入学時期及び履修期間

入学時期は4月又は10月です。それぞれの授業科目は半期のものがほとんどですが、通年のものもありますので、シラバス等でご確認ください。また、本プログラムは年度単位で実施していますので、翌年度も引き続き本研究科の科目を履修したい場合はあらためて申請する必要があります。

6. 受講料

1単位につき14,800円。また入学料28,200円が必要です（いずれも令和2年度額。入学料は改定される場合があります）。

合格者には、後日、受講料納付手続きに関する文書をお送りします。

7. 申請手続

(1) 申請方法

本プログラムは、科目等履修生の制度を利用していますので、志願者は本プログラムの申請書類（3）に加えて、科目等履修生の募集要項で定められている申請書類（4）も合わせて提出する必要があります。

志願者は、（3）（4）の申請書類等を取りそろえて（5）に提出してください。郵送する場合は、「簡易書留」郵便とし、封筒に「人間社会科学研究科大学院特別履修プログラム申請書類在中」と朱書きしてください。

(2) 申請期間

4月入学：令和3年2月1日（月）～2月19日（金）17時（必着）

10月入学：令和3年8月2日（月）～8月24日（火）17時（必着）

(3) 本プログラムの申請書類等

提出書類等	摘要
-------	----

① 志願書	本研究科所定の用紙を使用し作成したもの
② その他	その他研究科が必要と認める書類を求める場合があります。

(4) 科目等履修生の申請書類等

別に配布されている島根大学科目等履修生の募集要項をよく読んで書類を作成して下さい。

<https://www.shimane-u.ac.jp/social->

[contributions/lifelong_study/part_time_student/part_time_student02.html](https://www.shimane-u.ac.jp/social-contributions/lifelong_study/part_time_student/part_time_student02.html)

出願書類等		摘 要				
①	入学願書	本学所定の用紙により、授業担当教員と面談し、認印を受けたもの (別紙様式第1号)				
②	履歴書	本学所定の用紙により、必要事項を記入したもの(学歴欄は高等学校又は中等教育学校卒業から記入すること。)				
③	卒業(見込)証明書又は修了(見込)証明書	出身大学の学長・学部長・研究科長等又は出身学校長が発行したもの(高等学校又は中等教育学校の在学者は不要)				
④	健康診断書	本学所定の用紙により、医師が作成したもの(本学が求める診断事項が網羅されていれば他の様式でも可) *原則として、発行日より3ヶ月以内のもの				
⑤	入学検定料振込金証明書	<p>「2021年度島根大学『入学検定料』振込依頼書等用紙」の所定欄に必要事項を記入し、銀行・信用金庫・農協等の金融機関(※1)で、下記の取扱期間中に同用紙により<u>入学検定料9,800円</u>を振り込んでください。ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。振込手続後、窓口で返却された「Ⅲ票 振込金証明書(島根大学提出用)」を提出してください。</p> <p>※1 ゆうちょ銀行・郵便局を利用する場合は「通帳及び印鑑」が必要です。現金による振込はできません。</p> <p>【入学検定料振込取扱期間】</p> <table border="1"> <tr> <td>4月入学希望者</td> <td>2021年2月1日(月)から出願期限日の窓口取扱時間内(15時)まで</td> </tr> <tr> <td>10月入学希望者</td> <td>2021年8月2日(月)から出願期限日の窓口取扱時間内(15時)まで</td> </tr> </table> <p>なお、以下の場合以外は、納入された入学検定料は、いかなる理由が</p>	4月入学希望者	2021年2月1日(月)から出願期限日の窓口取扱時間内(15時)まで	10月入学希望者	2021年8月2日(月)から出願期限日の窓口取扱時間内(15時)まで
4月入学希望者	2021年2月1日(月)から出願期限日の窓口取扱時間内(15時)まで					
10月入学希望者	2021年8月2日(月)から出願期限日の窓口取扱時間内(15時)まで					

		<p>あっても返還することができません。</p> <p>a. 出願書類等を提出したが、受理されなかった場合 該当者に連絡しますので、所定の期日までに手続を行ってください。</p> <p>b. 入学検定料の振込後、本学に出願しなかった場合 c. 入学検定料を誤って二重に振り込んだ場合</p> <p>上記b又はcに該当する場合は、本人の申し出により納入された入学検定料を返還することができますので、4月入学については2021年3月5日(金)、10月入学については2021年9月7日(火)までに財務部经理・調達課出納担当(TEL 0852-32-6029)(土日祝日を除く9時から17時までの間)へ連絡してください。</p> <p>なお、返還の手続を行う際に「Ⅱ票 振込金受取書(志願者保管)」及び「Ⅲ票振込金証明書(島根大学提出用)」が必要となりますので、大切に保管しておいてください。これらの書類がない場合、振込事実の確認ができず、返還できないことがあります。</p>
⑥	承諾書等	<p>※現職教育のため任命権者の命により派遣される教職員の方のみ必要 本学所定の用紙により、任命権者が作成した「証明書」(別紙様式第3号)</p> <p>※現職のまま入学を希望する社会人で、上記に該当しない方のみ必要 本学所定の用紙により、勤務先等の所属長が作成した「承諾書」(別紙様式第2号)</p> <p>※現に高等学校等に在学している生徒の方のみ必要 本学所定の用紙により、当該学校長が作成した「出願許可書」(別紙様式第4号)</p>
⑦	誓約書	本学所定の用紙により、必要事項を記入したもの

※本プログラムに応募する場合に限り、①入学願書の「科目等履修生を志願する理由」欄は記入不要です。また科目等履修生の募集要項には、「なお、書類提出までに履修したい科目を決め、その授業担当教員の内諾を得ておく必要があります。」とありますが、本プログラムに応募する場合は内諾の必要はありません。履修したい科目が決まっていない場合は、「履修を希望する授業科目」欄に「未定」とお書き下さい。履修したい科目が決まっている場合は科目名をお書き下さい(担当教員の押印は不要です)。

(5) 申請書類提出先

〒 690-8504 松江市西川津町1060

島根大学人間社会科学科研究科担当(学生センター)

8. 選考方法

志願者の提出書類およびインタビュー（メールもしくは面接等による）をもとに、専門性または実務経験などから判断して選考します。

コースの選択及び履修科目の選定にあたっては、応募に際して提出された志願書をもとに、履修生の要望にマッチした指導教員を島根大学大学院人間社会科学研究科から選任し、履修生の希望を考慮しながら履修する科目の選定を指導します。また、指導教員からは、専門分野の研究について助言を受けることができます。

9. 選考結果の通知

- (1) 選考の結果は、4月から履修する場合は3月中旬、10月から履修する場合は9月中旬に本人宛文書にて通知します。
- (2) 選考に合格した者は、合格通知により指定された期日までに、入学料を納入の上、手続きを行ってください。
- (3) 入学料は、28,200円（2020年度額。入学料は改定される場合があります。）です。
- (4) 所定の手続きを完了した者に本プログラムの受講を許可します。

10. 単位の認定

本プログラムにおける科目の履修は、本学の科目等履修生制度を準用しますので、修得した単位は、本学大学院に入学した場合に既修得単位の認定の対象になります。既修得単位認定希望者は大学院入学時に申請を行ってください。

11. 受講上の注意

- (1) 授業によっては、教科書等の教材購入費が別途かかる場合があります。シラバス及び担当教員の指示に従ってください。
- (2) 図書館施設の利用、図書の閲覧・貸出等が可能です。
- (3) この要項に記載のない事項については、島根大学科目等履修生募集要項を参照してください。

12. 問合せ先

島根大学人間社会科学研究科担当（学生センター）

TEL (0852) 32-6121, (0852) 32-6333

Fax (0852) 32-6059

E-mail hs-gakumu@office.shimane-u.ac.jp

個人情報の取扱い

提出された書類の氏名、住所等の個人情報については、履修者の選考、申請者への連絡のほか、教務修学事務関係、教育・研究活動関係等の業務を行うためにのみ利用します。他の目的に利用し、又は提供することはありません。